

伝えたい 残したい

# 20世紀 のうしく



「昔のうしく」の写真をとくに昭和40年代までの写真・東部地区の写真を募集しています。



この建物は、明治時代に地藏院の跡地に建てられ、奥野尋常小学校の奥原分校(分教場)として、長らく地域の子どもたちの成長を見守ってきました。  
昭和40年に奥野小学校に統合されて閉校し、奥原公会堂として使用されましたが、同48年に取り壊されました。

昭和40年代

問 文化芸術課(牛久シャトー内) ☎874-3121

## 奥原公会堂(旧奥原分校舎)

## 里山の樹木

問 都市計画課  
☎内線2524



### 第53回 ホオノキ

モクレン科モクレン属の高さ30mになる落葉広葉樹の高木で、北海道〜九州の山地に分布。市内では斜面林等にわずかに自生する他、庭木として植栽もみられます。樹皮は灰白色平滑で葉は互生し、枝

- ①開花期の樹冠:遠山町斜面林(平成23年5月19日撮影)
- ②枝先の葉と花:遠山町斜面林(平成12年5月10日撮影)
- ③赤褐色の集合果実:女化町S氏屋敷林(平成24年9月2日撮影)

先に集まってつき、葉身は長さ20〜40cm、幅10〜25cmの倒卵形。花は枝先に直径15cmの大きな黄白色の花が上向きに咲き(写真②)、芳香があります。花被片は9〜12枚、外側の3枚は淡緑色で赤身をおび、内側の6〜9枚は黄白色、雄しべと雌しべは多数らせん状につきまます。果実は集合果で長さ10〜15cm、赤褐色に熟し(写真③)、中に赤色の種子が入っています。名前は昔、葉で食物を包んだことに由来します。

※牛久の里山樹木ハンドブック24ページ掲載。本の問い合わせは牛久自然観察の森(☎874・6600)まで。  
【資料提供】NPO法人うしく里山の会(文章:戸塚昌宏、写真:①②渡辺泰、③戸塚昌宏)

## 文芸さろん | 臈月 |

紺掻<sup>こんか</sup>きの糊を盗みに雀の子  
葱坊主なまいき少年。パパになる  
二の池のしだれ桜の美しさ  
水辺にうつる夜の星空  
縁側で猫とおしゃべり春の午後  
葱坊主ひよこのジャンプ届かざる  
春嵐老僧ひとり牛久駅  
チューリップ咲いて心癒される  
鯉のぼりうしくの空に来年は

進の介  
淑子  
枝さん  
山崎さん  
我氏  
和多田さん  
月田さん  
長沢さん

### 〈次回募集テーマは「初夏」〉

【作品募集】イラストや俳句、川柳、短歌など  
【あて先】〒300-1292 牛久市中央3-15-1  
「広報うしく文芸さろん」係 FAX:873-2512  
E:kouhou@city.ushiku.ibaraki.jp  
【記載事項】作品、氏名、電話番号  
匿名希望の方はその旨(ペンネームもOK)



※掲載作品は担当課にて審査の上、決定します。投稿いただいた作品が必ず掲載されるわけではありません。

「牛久の巨樹」発売中 ※お求めは都市計画課まで(1,200円)